

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6 年 6 月 21 日

事業所名 ネクストエール立川上砂教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	②	職員の配置数は適切である	5	1	1	配置基準は順守している	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			視覚障害のお子さんに向けた、足元のガイドを設置	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		定期的に公表している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		4		第三者評価の受審をする
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		毎月テーマを変えて実施している	十分ではないので、更に機会を増やしていく
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			面談時の聞き取りを中心に行っている	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3			誰でも記入しやすいアセスメントの製作を行う
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			毎月の会議で立案している	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		月ごとにテーマを決めている	プログラムのバリエーションをさらに増やしていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			長期休みに合わせた個別課題	長期休みに向け、児童別の個別課題の設定
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7			子どもの状況に合わせた過ごし方の提供	今後もその時の状況に応じた過ごし方ができるよう配慮していく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7			当日の流れや配慮点を共有している	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			その日の支援で気付いたことや反省点を共有している	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1			まだ機会はないが、今後機会があればふさわしいものの参加を予定している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1		下校受け渡しの際に、担当の先生と情報の共有を行っている	事務連絡的なものが中心なので、更に情報共有の場を作っていきたい
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	2		現在受け入れはないため、今後状況に応じて体制を整えていく
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	2	保護者から情報共有していただいている	今後は就学時の情報共有を当該施設と行っていけるよう環境調整を行う
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	2		学校を卒業する児童がまだいないが、今後状況に応じて対応していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4			機会を多く設定できるよう、関係機関と調整していきたい
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	5	図書館、読み聞かせや人形劇のボランティア	地域のイベントへの参加や、教室で行うイベントへの招待 近隣施設との交流を行う
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		5	2		機会がなく参加できていないので、情報収集を行っていく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に当日の様子をわかりやすくお伝えするよう心掛けている	保護者の方からも情報共有がしやすい関係づくりを心掛けていく
保	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1			更に専門的な知識を身に付け、実践していく
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				子育ての悩みなどを相談していただきやすいよう、職員の支援スキルのアップを目指す
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	1	定期的な保護者会の開催	保護者の方のニーズに合わせた保護者会の内容設定を行う

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情をいただいた際の対応体制を整備し職員に周知している	まずは苦情をいただく事の無い体制作りをしっかりと行い、苦情をいただいた際には誠意をもって対応させていただく
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月のお便り、毎日のSNS発信を行っている	教室での過ごし方をわかりやすく伝え、楽しく見ていただけるような工夫を重ねていく
	③⑤	個人情報に十分注意している	7			配布物への記名を廃止した	誤配布などの無いよう、ダブルチェックの徹底を行う
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			視覚的支援等	今後も児童のニーズに合わせた方法を提供していく
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	5		イベントを通じた交流を図っていく
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2			更に徹底できるよう、保護者の方にわかりやすい提示方法を検討していく(例・保護者会での説明など)
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			毎月の訓練を行っている	継続して取り組んでいく
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			定期的に研修を行っている	定期的な研修を実施
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			該当の児童がいる場合には、対応していく
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			医師の指示に基づいた対応を行っている	今後も事故の無いよう情報をきちんと共有して対応を行う
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハットの当日ミーティングで共有している	ヒヤリハットを共有し、その後の支援に生かしていけるよう対策を講じる

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。